

1. 北海道（地域別調査機関：（株）北海道二十一世紀総合研究所）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明	
家計 動向 関連 (北海道)	良く なっている	-	-	-	
	やや良く なっている	乗用車販売店 （従業員） その他専門店 〔医薬品〕（経 営者） 観光型ホテル （スタッフ） 観光名所（従業 員）	販売量の動き 単価の動き 来客数の動き 来客数の動き	・新型車効果が少しずつ表れてきている。 ・ようやく4月の消費税増税の影響から脱してきてい る。客の需要が高まっており、高額品も動いてきてい る。 ・中国とのLTC直行便の効果が表れている。また、 韓国ではテレビ番組での紹介により旅行商品が好調で ある。 ・11月28日現在、来客数が前年比101.6%となってい る。今年は工事の影響で前年と比べて営業日数が6日 間少ないものの、観光客の入込が増えているためとみ られる。	
	変わらない	商店街（代表 者）	お客様の様子	お客様の様子	・来年の消費税増税が延期されたことに加えて、12月 の総選挙を控えて、客の動向は現状のまま推移してい る。
		百貨店（売場主 任）	来客数の動き	来客数の動き	・11月の来客数は前年比98%となっており、ここ数か 月大きな変化がみられない。また、定価品やバーゲ ン、催事のいずれも売上が前年比95%前後で推移して おり、冬物の動きも停滞気味である。
		百貨店（役員）	来客数の動き	来客数の動き	・ファッション関連は前年実績に近づきつつあるが、 家具や家電などの耐久消費財の動きは厳しい。当社で は、特に家具専門店の売上が大きく減少している。
		スーパー（店 長）	来客数の動き	来客数の動き	・来客数の動きが変わらない。
		スーパー（店 長）	来客数の動き	来客数の動き	・消費税増税の影響からいまだに回復してこない。衣 食住部門の高単価商材が売れず、特に住まい用品に関 しては影響が大きい。4月以降、来客数の前年割れが 続いており、消費者がインターネットでの購入に移行 していることも考えられる。
		スーパー（役 員）	来客数の動き	来客数の動き	・ここ数か月、来客数の動きに変化がなく、前年より も2～3%下回って推移している。一方、客1人当 たりの平均買上点数及び商品単価がそれぞれ前年から 1%程度上回っていることで客単価を押し上げてお り、税込の売上は前年を上回って推移している。消費 者は家計をやりくりしながら、食生活を維持している のが現状である。
		コンビニ（エリ ア担当）	来客数の動き	来客数の動き	・夏以降、来客数の減少が続いており、回復してこ ない。特に18時以降の夜間の来客数が大きく減少してい る。酒やたばこなどの買い控えが影響しているとみら れる。
		衣料品専門店 （店員）	単価の動き	単価の動き	・単価の高い商材の動きが悪い。
		家電量販店（経 営者）	販売量の動き	販売量の動き	・消費税増税後の反動減に加えて、全体的に景況感が 悪いことから、消費マインドが低下している。
		家電量販店（地 区統括）	販売量の動き	販売量の動き	・消費税増税後の売上の落ち込みが、予想以上に長引 いている。
		乗用車販売店 （従業員）	来客数の動き	来客数の動き	・来客数が減少している。新型車発売の案内をして も、以前ほど客の来店がみられない。
		乗用車販売店 （従業員）	販売量の動き	販売量の動き	・販売量がますます減少している。
		自動車備品販売 店（店長）	お客様の様子	お客様の様子	・客のタイヤ購入の様子をみても、国産メーカーのも のであれば良いという客が多く、客単価が低下してい る。
	高級レストラン （スタッフ）	お客様の様子	お客様の様子	・今月はスポット予約が入ったこともあり、全体の売 上は前年を3%上回った。ただし、スポット予約分を 除くと、売上は前年並みであった。例年、この季節に なると、観光客、一般フリー客ともゆっくりと食事を することが多くなるため、回転率が悪くなる傾向にあ る。	
	旅行代理店（従 業員）	お客様の様子	お客様の様子	・法人の団体旅行は数年に1度の割合で継続的に発生 するため、特に良くも悪くもない状況にある。ただ、 需要の発生するタイミングが遅くなっている。景気が 良い時は受注も早いですが、最近では動きが鈍化してい る。	
	美容室（経営 者）	販売量の動き	販売量の動き	・新商品の初月の販売量が予想以上の好調であった。	
	やや悪く なっている	商店街（代表 者）	単価の動き	単価の動き	・50万円以上の高単価の時計や宝飾品の販売量が10% 以上減少している。

商店街（代表者）	単価の動き	・11月の売上は前年を上回った。ただ、9～10月とツアー客が減った分、11月に安いツアーが入ってきた影響とみられる。
商店街（代表者）	来客数の動き	・各店舗の業績を聞いても前年実績を維持できていない状況にある。こうした傾向は消費税増税後から続いていたものであったが、今までは1けたの減少幅にとどまっており、今月のような2けたの減少幅はみられなかった。消費者の景気に対する意識が変わってきていることが大きな要因とみられる。ただ、こうした状況のなかでも高額商材が売れていることは良い材料であった。
一般小売店〔土産〕（経営者）	販売量の動き	・季節的な影響で観光客が少なくなってきたなかで、例年よりも観光客の客単価の低下幅が大きくなっている。
一般小売店〔酒〕（経営者）	お客様の様子	・付き合いのある事業者の多くが電気料金の値上げに頭を悩ませている。また、客先からは総選挙が決まったことで宴会などを行いづらい雰囲気が出ており、年末を控えて外食機会が一段と減りそうだという声が上がってきている。
百貨店（販売促進担当）	来客数の動き	・現政権の経済対策効果の恩恵が感じられないなか、これから冬期に向かう北海道では燃料価格の高騰が続いていることで、生活防衛意識がますます高まっており、消費行動が鈍化している。
百貨店（販売促進担当）	単価の動き	・客単価が前年を上回る状態を維持しているものの、伸び率が縮小してきている。来客数の減少と買上率の低下に歯止めがかからないなか、単価上昇が足踏み状態となっていることが全体売上に影響している。
スーパー（店長）	販売量の動き	・11月の販売量は前年比95%となっており、消費税増税からずっと右肩下がり状態で推移している。売上も前年割れが続いている。
スーパー（役員）	お客様の様子	・お歳暮や年末商材の動きが良くない。電気料金の値上げなどで消費者の節約志向が強くなっている。
衣料品専門店（経営者）	お客様の様子	・冬の寒さの影響で街を歩く消費者が減少している。11月からの電気料金の値上げに加えて、灯油価格の高騰もあり、暖房にかかる光熱費が来年4月まで家計を圧迫することになる。総選挙の影響も多大である。
衣料品専門店（店長）	来客数の動き	・消費税増税、電気料金の値上げなどの影響が出ている。
家電量販店（店員）	販売量の動き	・小物商品のまとめ買いが少なくなった。
乗用車販売店（従業員）	販売量の動き	・周りを見ても車の販売台数がかなり減少している。メーカーのリコールの影響もあるが、それにしても落ち込みが大きい。売れている営業マンもいるが、全体的に厳しい状態にある。
乗用車販売店（役員）	お客様の様子	・新型車が出て受注につながらない。店頭で足を運ぶ客の決断が以前に比べて慎重になってきている。来年の消費税増税が延期されたことや自動車税を取り巻く今後の動向が不透明なことなど、先行きの不透明感も影響している。
高級レストラン（スタッフ）	販売量の動き	・前年と比べて売上が10%近く減少しており、やや悪い状況にある。電気料金が上がってから価格を下げたメニューは人気があるが、全体的に主婦層の利用が少なくなっているなど、北海道は電気料金の値上げが飲食店やサービス業に深い影を落としている。今月訪れた東京の繁盛店では接客が上手なうえに客入りも良いなど、飲食店の景気回復を強く感じたが、北海道ではそうした影響はほとんどみられないうえ、客単価も低下し続けており、強い格差が生じている。
一般レストラン（スタッフ）	販売量の動き	・原材料価格の値上がりにより、メニューの値上げを実施したにもかかわらず、わずかではあるが客単価が前年より低下している。
観光型ホテル（役員）	来客数の動き	・貸切バス料金の高騰で道内団体客を中心に予約が激減している。外国人観光客も前年からの伸びが頭打ちになるなど、集客が悪化しており、円安効果が実感できない状況にある。さらにエネルギー価格を始めとして、多くのコストが急伸しており、業績が落ち込み始めている。
旅行代理店（従業員）	販売量の動き	・衆議院の解散後、航空機利用の予約が減少傾向にある。また、予約のキャンセル割合も上昇している。経済活動を中心とした人の動きが鈍化している。

		旅行代理店（従業員）	来客数の動き	・テレビや新聞で総選挙に関する報道が出てから、来客数が減少している。ただし、エボラ出血熱に関する報道が落ち着いたことで、今後の海外旅行受注が期待できる。
		旅行代理店（従業員）	来客数の動き	・11月は来客数が減少している。また、高額ツアーよりも格安プランを求める客が増加している。
		タクシー運転手	販売量の動き	・これから年末に向かうなかで、3か月前と比べて景況感がやや下向きになっており、今後に対する危機感を覚えている。
		タクシー運転手	来客数の動き	・10～11月と売上が前年実績をやや下回っていることから、景況感は下向きとなっている。
		パチンコ店（役員）	お客様の様子	・原油価格の高騰や消費税増税などの影響により、客の買い控えが目立ってきている。
		美容室（経営者）	来客数の動き	・来店周期が全体的に短くなってきているなかで、特に年金生活者の動きが顕著になっている。ただ、各種値上げが続き、可処分所得が少なくなっているため、消費意欲は衰退してきている。
		その他サービスの動向を把握できる者〔フェリー〕（従業員）	来客数の動き	・観光シーズンはほぼ終了したことに加えて、公共工事の減少により輸送量が大きく落ち込んでいる。
		住宅販売会社（役員）	競争相手の様子	・競合他社の分譲マンションの契約率にばらつきが出てきている。販売物件ごとの好不調がはっきりしており、前年の同時期のようにどの物件でも売れるということはみられない。
	悪くなっている	商店街（代表者）	来客数の動き	・燃料価格がわずかながら下がってはいるが、11月からの電気料金の値上げにより苦しい胸の内を開かず商店主が多い。また、当地では、暖房器具の使用などにより冬季の電気料金が大きく増加するため、前年以上に外出を控える住民が増えている。例年であれば、冬物衣料や冬物商材の購入のため、高齢者向けの無料バスの乗降客が増えてくる傾向にあるが、今年については減少している。
		百貨店（売場主任）	お客様の様子	・10月の段階で来年の消費税増税の判断時期が近づいたことをきっかけに客の財布のひもが固くなっている。また、11月に入ってから、電気料金が上がったこと、前年に比べて暖かい日が続いていることから、コートやジャケットの販売量が前年の90%台前半で推移している。また、12月に総選挙が行われることもあり、非常に厳しい状況にある。
		百貨店（売場主任）	来客数の動き	・お歳暮ギフトの動きが鈍く、取扱件数も減っている。
		タクシー運転手	来客数の動き	・例年であれば、11月は雪の降る日が数日あるが、今年は例年よりも暖かく、雪の降る日が少なかったため、タクシーの利用客が前年より大幅に減っており、売上も大きく減少した。
		タクシー運転手	販売量の動き	・利用客の減少に歯止めがかからない。
		タクシー運転手	販売量の動き	・11月の売上は、3か月前と比較して13.7%の落ち込みとなった。特に夜間の利用客が減っており、前年と比較しても約5%の減少であった。例年であれば、年末に向かって忘年会なども行われ始める時期であるが、今年は全く動きがない。
		通信会社（企画担当）	販売量の動き	・札幌圏の店舗で想定したほど新商品が客に受け入れられていない。
		住宅販売会社（経営者）	単価の動き	・消費税増税後は半年程度で売上が回復するとみていたが、いまだに消費税増税に対する客の反応が厳しい。特に自動車、住宅などの値がかさむ商材は影響が大きい。
企業動向関連 (北海道)	良くなっている やや良くなっている	-	-	-
		家具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・来年に向けて請負物件に対する需要がおう盛んになってきた。一方で、個人消費は必ずしも堅調とはいえない。全体としてはまだ様子だが11月はまずまずの状態に推移した。

	その他サービス業〔ソフトウェア開発〕（経営者）	受注量や販売量の動き	・需給バランスからみれば、需要がかなり増えており、人材の供給などが追いつかない状況になってきているなど、景気の改善が急速に進んでいるようにみられる。ただし、条件面の改善はほとんど進んでいない。発注者は国内で条件面を改善するよりも、海外で安価な引受先を求める傾向にあり、この構図が変わらない限り、利益は大手の元請に蓄積される一方で、下請の経営環境はより厳しさを増すことになる。	
	その他非製造業〔鋼材卸売〕（役員）	受注量や販売量の動き	・客先の仕事量が確保されているためか、売上は好調だが、同業他社との競争が厳しくなっており、利益率の低下が懸念される。	
変わらない	食料品製造業（従業員）	受注量や販売量の動き	・販売量は前年を若干上回っている程度であり、3か月前と比べてもほとんど動きは変わらない。	
	建設業（従業員）	受注量や販売量の動き	・工事の引き合いは引き続きあるが、配置人員及び協力会社の不足から、新たな物件の取扱が困難な状況にある。	
	輸送業（営業担当）	取引先の様子	・新聞の発行部数が減っていることで、新聞巻取紙の生産調整が行われている。ただし、その対策として産業用紙の生産が増えており、国内外への輸送が行われている。一方、バター、脱脂粉乳については、引き続き生乳不足の影響により生産量が落ちこんでいる。国としても緊急輸入を行うなどの対応を進めているが、年末のクリスマス商戦など、需要期に入ってきているなかで菓子メーカーも困っている状況にある。	
	金融業（企画担当）	それ以外	・個人消費は身近な食品や日用品の価格が上昇していることで消費者の節約志向が強い。建設関連は資材価格の高騰と人手不足で工事の進ちょく遅れがみられる。設備投資は病院などの新增設がみられるが、中小企業の動きは慎重である。観光は外国人観光客が増加しているが、道内容が低迷している。	
	司法書士	取引先の様子	・不動産取引や建物の新築などの動きがやや下向きになっている。地方都市の景気が後退しているためとみられる。	
	コピーサービス業（従業員）	取引先の様子	・取引先の経費削減志向はまだまだ変わっておらず、購買意欲も変わらないまま推移している。	
やや悪くなっている	食料品製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・年末の大切な書き入れ時に総選挙が行われることになったため、例年に比べて外食関係の荷動きが悪い。	
	金属製品製造業（従業員）	受注量や販売量の動き	・前年と比べると、住宅着工率及び建築確認申請の動きが依然として厳しい状況にある。	
	建設業（従業員）	受注量や販売量の動き	・消費税増税前に駆け込みで着工した建築工事や年度初めに着工した建築工事が竣工を迎えている一方で、新規着工の工事が少ないため、仕事量が漸減している。	
	輸送業（支店長）	取引先の様子	・港湾における在庫の回転率が低下しており、明らかな下降線を描いている。道内の建築需要が苦戦したまま冬場を迎えており、スポット需要も期待できないため、前年と比べて取扱量の大幅な減少が避けられない状況にある。	
	司法書士	取引先の様子	・土地の売買が多少上向きであるが、建物の増改築や新築が減少している。	
	司法書士	取引先の様子	・来年の消費税増税が延期されたことはプラス材料だが、地方においては現政権の経済対策による効果がみられない状況が続いており、先行きも不透明なため、不動産投資や建物の新築は減少している。当地はこれから降雪期に入り、不動産取引の減少する時期となるため、景気回復は難しい状況にある。	
	その他サービス業〔建設機械リース〕（支店長）	取引先の様子	・数か月前まで安定した受注を確保していた建設業者も、ここに来て受注量に格差が出始めている。総選挙の影響も懸念される。	
	その他サービス業〔建設機械レンタル〕（総務担当）	受注量や販売量の動き	・10月から売上が前年割れの状況となっている。	
悪くなっている	-	-	-	
雇用関連 (北海道)	良くなっている	-	-	-
	やや良くなっている	職業安定所（職員）	求人数の動き	・新規求人数は前年から1.6%増加し、57か月連続で前年を上回った。月間有効求人数も前年から4.9%増加し、57か月連続で前年を上回った。

変わらない	人材派遣会社 (社員)	求人数の動き	<ul style="list-style-type: none"> ・求人数が増えている傾向にあるが、人気のない求人ばかりで需要と供給のバランスが悪い。求人側は思うような採用ができず、求職者側は希望するところに就職できない状況にある。
	求人情報誌製作 会社(編集者)	求人数の動き	<ul style="list-style-type: none"> ・求人件数の伸びが鈍化しつつあり、正規、非正規ともに頭打ちの状況になってきている。
	新聞社[求人広 告](担当者)	求人数の動き	<ul style="list-style-type: none"> ・募集広告の売上が前年から微減している。売上構成比の高い、派遣、医療関係は売上が2～3割伸びているが、他業種が軒並み前年を下回り、全体の足を引っ張った。特に、小売、飲食、環境衛生が落ち込んだ。
	職業安定所(職 員)	雇用形態の様子	<ul style="list-style-type: none"> ・10月の新規求人数は前年を5.3%下回った。新規求職者数は前年を10.0%下回った。月間有効求人倍率は0.89倍となり、前年の0.85倍を0.04ポイント上回った。しかし、新規求人のうち正社員求人の占める割合は45.3%と相変わらず低く、求人者と求職者との間における職種や労働条件のミスマッチも少なくないことから依然として厳しい状況にある。
	職業安定所(職 員)	求人数の動き	<ul style="list-style-type: none"> ・新規求人数が11か月連続で前年を上回り、月間有効求人数が20か月連続で前年を上回るなど、求人数の増加傾向が続いているが、増加幅がやや低下してきていることが懸念材料となっている。
やや悪く なっている	人材派遣会社 (社員)	求人数の動き	<ul style="list-style-type: none"> ・3か月前に比べて、求人数の前年からの伸び率が鈍化している。しかしながら、正社員の求人数は前年の2倍強に増加しているなど、企業の人材不足感は拡大している。一方、求職者に仕事を見つけようという強い意志が感じられない。就職をあきらめているのか、もっと良い求人が出てくるのを待っているのか判断が難しい。
	求人情報誌製作 会社(編集者)	求人数の動き	<ul style="list-style-type: none"> ・求人広告が前年と比較して少なくなっている。また、市長選に続き、総選挙が行われるため、年末に向けてやや停滞しそうな気配がある。
	求人情報誌製作 会社(編集者)	求人数の動き	<ul style="list-style-type: none"> ・求人件数が減少し始めている。深刻な人手不足の業種以外は景気の先行き不透明感から求人を控えている。年末の総選挙の影響で飲食店や小売に影響が出てくることも懸念される。
	職業安定所(職 員)	求人数の動き	<ul style="list-style-type: none"> ・更新求人が依然と高めに推移しているものの、新規求人数が3か月ぶりに減少しており、産業全体的に求人数が減少している。
悪く なっている	-	-	-